

大阪府立大学大学院
生命環境科学研究科
獣医学専攻オープンセミナー2009 (4)

日時: 2009年12月14日 (月)

午後4時~5時

場所: りんくうキャンパス・第1講義室

「モデル動物の開発とその応用」

名古屋市立大学大学院医学研究科
病態モデル医学分野
実験動物研究教育センター
三好 一郎 教授

医療技術の開発,あるいは,その基本となる生物の仕組みを理解するためには,今のところ個体を対象とする実験を回避することはできない。相当数の種ではゲノムDNAの塩基配列の解読が終了したが,ますますモデル動物は医学生命科学研究に欠かせないツールと考えられている。順遺伝学的方法論および逆遺伝学的方法論に基づく様々な方法で樹立されたモデル動物を用い,疾患の原因遺伝子を同定し,その機能や変異,発症機構が解析されている。特に,遺伝子組換え動物は,新たなモデルとして日常的に作出されるに留まらず,連鎖解析やポジショナルキャンディデートクローニングによって同定された自然発症モデルの疾患原因遺伝子の理論的証明や機能解析にも頻用される。本講演では,我々の研究を中心にモデル動物の開発とその応用について現状を紹介する。

セミナー終了後に「三好先生を囲む会」を,1F会議室で開催します。ふるってご参加ください。(会費:3,000円)

連絡先: 生命環境科学研究科実験動物学教室
加藤啓子 (内線 62-2537)
E-mail: kato@vet.osakafu-u.ac.jp